

認知症に関する活動計画（概要）

香川県作業療法士会では香川県や各市町からの依頼を受け、健康ステーション健康長寿講座や認知症予防講座に継続的な県士会員派遣を行っている。健康ステーション健康長寿講座は、高齢者にかかわる総合的な健康をテーマに行われており、認知症に関するテーマは非常に関心が高く、作業療法士による講座は毎回好評を得ている。人材育成としては、香川県長寿対策課とともに、2016年から認知症初期集中支援員養成事業を、初期集中支援に限らず広く地域実践につなげるため、認知症ケア人材育成研修補助事業として実施している。また、香川県からの委託事業として、3団体協力のもと、認知症予防キャラバン事業として、県民に対する普及と啓発、予防に取り組んでいる。

認知症ケア人材育成研修補助事業

県からの補助を受けて実施している。認知症アップデート研修を基礎研修に位置づけ、実践者研修、修了者研修と段階を踏む、認知症ケア人材育成研修として実施している。すでに基礎研修（認知症アップデート研修）を実施したが、新型コロナウイルスの影響で参加者は6名にとどまった。実践者研修と修了者研修については、Webによるリモート研修を検討している。初期集中支援に限らず地域への実践につなげられるよう、また、現状況下で人材育成が滞らないよう、創意工夫しながら進めていく予定である。



健康ステーション健康長寿講座

高松市からの依頼で、高松市健康ステーションにおいて、医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師等の専門職が健康・介護予防に関する講座をおこなっている。毎年、OTは認知症講座を担当している。参加者からは「毎日の生活のなかで教えて頂いた事を実行したいと思います。」などの嬉しい声を頂いている。



認知症予防キャラバン事業

香川県からの委託事業として作業療法士会、理学療法士会、言語聴覚士会のリハ職3団体が協力し「認知症キャラバン事業」を実施している。昨年度は地域の自治会や老人会から約50件の依頼があり、73名の講師（OT/PT/ST）を派遣し、延べ1,317人の県民の皆さまに参加いただきました。認知症予防の知識や運動を体験いただき笑顔が絶えない好評な事業である。今年度も概ね50件前後の派遣を予定している。

